

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日:2024年 1月 18日

事業所名:放課後等デイサービス ビアンカ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	利用定員に応じた十分なスペースが確保できています。	はい:88% どちらともいえない:12%	子ども達がのびのびと過ごせるような環境構成に努めていきたいと思えます。
	2 職員の適切な配置	児童2名につき職員1名を配置しております。	はい:94% わからない:6%	
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	施設の構造上 全面バリアフリーは難しいが段差を極力減らし 安全は確保しています。	はい:100%	
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	高濃度アルコールによる備品、車の消毒を毎日行い清潔を保っています。 空気清浄機や加湿器を設置しています。 自動水栓、ペーパータオルを設置しています。	はい:100%	
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	定期的なミーティング、日々の申し送りにて振り返りを行っています。		
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	他施設の見学受け入れなどからご意見をいただき業務改善に取り組んでいます。		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	外部研修への参加を積極的に行い、職員間で情報を共有しています。		
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	日々の情報共有をはじめ、面談時での保護者の意見も取り入れた上で、アセスメントシートを作成し それに基づき支援計画を作成しています。	はい:100%	
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	日々の記録、モニタリングを元に六ヶ月ごとの支援計画の見直しを行っています。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	必要な項目の設定及び支援内容については、面談をもとに、個々の個性に見合った課題やニーズを明確にし具体的な内容の記載をしています。	はい:100%	
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援計画に基づき支援しています。	はい:100%	
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	定期的なミーティングにより 立案や計画を行っています。		
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	長期休暇時のプログラムやイベントの計画をミーティングにより立案しています		
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	長期休暇時や休日には 外出やクッキングなど飽きずに取り組めるよう工夫しています。	はい:88% わからない:12%	今後も職員と保護者様と連携を取り課題やニーズを踏まえ毎日の活動が固定化しないように努めます。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援開始前に打ち合わせを行いその日の療育内容などや利用児童の様子などを共有しています。		
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	気づいた点は日誌に記録し必要に応じてミーティングを行い翌日の申し送りにて情報共有しています。		
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々連絡帳や業務日誌にて記録し検証、改善に取り組んでいます。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	六ヶ月ごとのモニタリングにて 計画の見直しを実施しています		
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	利用者全員セルフプランのため参加していません	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当利用者なし	
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当利用者なし	
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	支援内容の情報共有は行っている。担任教師の訪問等受け入れ、学校訪問等のお願いもすることもあります	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	該当利用者なし	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	機会があれば積極的に研修受講できるような体制を整えています	
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	児童館主催のイベントへの参加をしております	地域とのつながりを広めていき、今後交流が 持てるように考えていきたいと思えます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	自治会に参加し、声掛けなどは積極的に行っています		
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	見学時に支援内容の説明をし、利用者負担等については契約時に説明しています。	はい:100%	
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	最長でも6ヶ月の支援計画の見直しを行っており、わかりやすい言葉で説明を行っております。	はい:100%	
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	現在のところは実施しておりません。	はい:55% どちらともいえない:6% いいえ:11% わからない:28%	保護者会について、保護者の中で立場や考えの違いになどにより保護者会として活動していないが、保護者と情報交換としての茶話会や個別面談の充実を図ります。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時や連絡帳でその日の状況を伝え、自宅での様子等も伺い情報共有しています。	はい:100%	
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	必要に応じて臨時の面談や電話相談をおこなっています	はい:94% どちらともいえない:6%	
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	・現時点では保護者会などの発足はしておりません。	はい:17% どちらともいえない:17% いいえ:28% わからない:38%	ご家族間の交流も子育ての中には必要なものであると考えております。今後、職員で話し合いながらご家族同士の交流の機会を設けられるよう検討していきたいと思っております。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	契約時に苦情窓口の説明をし、苦情等があった場合は迅速な対応を心がけています	はい:88% わからない:12%	今後も迅速に対応できますよう心掛けて参ります。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	個々にあったコミュニケーションを検討し実践しています。	はい:100%	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	SNS等を定期的に更新しているが会報は作れていない為 個々の連絡帳にて随時お知らせしています	はい:94% わからない:6%	
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	鍵付き書庫に保管し管理しています。	はい:100%	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルを作成し 事業所内にいつでも誰でも閲覧できるようにしています。	はい:88% わからない:12%	保護者や職員への周知徹底をつとめます。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	避難場所の確認や避難訓練を実施しています。	はい:83% わからない:17%	避難訓練の様子等、SNSなどで発信できるよう検討します。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	年1回実施し、社外研修にも参加しています。 内部研修を職員間で実施しています。		
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	該当利用者はいませんが説明等は行っています。		
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	アレルギーを持つ子どもには、保護者からアレルギー症状などのヒアリングを行い適切に対応しています。クッキングプログラムに関しては、毎回アレルギー対応メニューで実施するとともに、提供する食事に関しては原材料を確認して提供しています。		保護者からの情報や医師の指示書等に基づき適切な対応を行います。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	職員間で情報共有し防止策の検討を行っています。		
満足度	1	子どもは通所を楽しみにしているか		はい:100%	
	2	事業所の支援に満足しているか		はい:100%	